

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信越自然郷・五高原ロングライド 2016」
事業主体 (連絡先)	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会 代表林 靖夫(事務局 0269-64-3316)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,325,031 円(うち支援金 1,126,000 円)

事業内容

「信越自然郷」を巡るサイクリングイベントを通じて観光資源を再開発し、インバウンドを絡め、楽しみの幅を広げる施策となる事業で地域住民を巻き込んで実施していく。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 参加者は減ってしまいましたが宿泊者は105名より117名に増えてきました。
- ② ロケーションと食、おもてなしの好評価がえられPRにつなげた。
- ③ 台湾からのエントリーを増やそうと取り組みましたが本年は、成果が出ず、次回に持ち越しとなりました。
- ④ 18名の輪行参加(昨年13名)がありました。

【目標・ねらい】

- ① 参加者・宿泊者の増加
- ② 信越自然郷のPR
- ③ インバウンド対策
- ④ 新幹線飯山駅を活用した輪行の啓発

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

インバウンドの下地はできたと考えています。来年から本格的に外国(台湾)の参加者増加をはかります。また、信越自然郷の資源の魅力を更に活用しPRしてまいります。

※自己評価【A】

【理由】

信越自然郷を観光資源として活用するにあたり、ロケーションだけでは好評価にはつながらず、参加した、スタッフのおもてなしがうまくいきかなりの評価をえられ、リピーターにつながったと感じられた。(アンケートより)しかし、インバウンド対策がうまくいかなく、課題が残った

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある